

自分の命は自分で守る みんなの命はみんなを守る

～ いざという時のために いつもできることが大事 ～

みなさん、目を閉じて、耳をすませてください。

大きな災害が起こり、ドキドキしながら避難し、大勢の人が集まった時には、今のように静かにすることで、心の落ち着きを取り戻せますね。

今週の月曜日に、「通学班会議・一斉下校」を行い、交通事故からみなさんの命を守るお話をしたばかりですが、今日は、みなさんが学校にいる時に、大きな地震が起こり、その後、火災が発生した時の安全な行動の仕方を身に付けるための訓練を行いました。

みなさんがすべきことは、避難するときも、避難した後でも、

「気持ちを落ち着かせること」

「静かに、先生や大人の指示を待つこと」

「黙って安全な行動すること」の3つです。

この3つの約束を守ることが、命を守ることです。

今の素晴らしい態度が、学校の中だけでなく、どこにいても、どんな時でもできることが大切です。

「自分の命は自分で守る」「みんなの命はみんなを守る」

この意識と行動力を、すべてのしわすだっ子がしっかりと身に付け、安全で楽しい毎日を過ごしてほしいと願っています。

本日の避難訓練で話した内容です。今回の避難訓練は、「3密」を考慮し、低・中・高の学年ブロックごと3回に分散して行いました。「緊急地震速報」発令を想定した訓練でしたが、どの学年も、安全に、素早く行動でき、とてもよい訓練になりました。(全員が防災頭巾を着用し、避難後の校庭での人員点呼完了まで5分以内)

大地震や竜巻、台風(暴風雨・水害)は、お子様が学校にいる時ばかりとは限りません。登下校中やご家庭にいる時、放課後遊んでいる時、習い事の行き帰りの時など、いろいろな場合が想定できます。

ご家庭におかれましても、自然災害発生時や不審者に遭遇しないために、また、遭遇してしまったらどうするのか等の安全行動について話し合ってください、お子様だけでなく、ご家族の皆様の命が守れるよう、ご準備いただくことを心より願っております。

校長 石井 宏明

